

皆さまの“ひと手間”が こんな形で世界につながっています。



便利にお片づけした後に、世界の子どもたちの命を救ったり、開発途上国で雇用を生んでいるのが「古着deワクチン」。皆さまにご注文いただいた後、どんな風に、誰のもとに届いているかをお知らせします。着なくなった&使わなくなった衣類等をただ捨てるのではなく、誰かのために使えている…そんなちょっとしたココロの喜びを、ぜひ感じてくださいね。

「古着deワクチン」をご注文いただくと

1
Tsurugi de vaccine

ご購入1口につき、5人の子どもの命を救うことができます。

ご購入代金のうち、5人分のポリオワクチン代(100円)をお客様からの寄付としてお預かりし、責任をもってJCVにお届けします。



2019年9月4日 バヌアツにて撮影 ©etsl

2
Tsurugi de vaccine

皆さまのご注文が障がい者の方のお仕事につながっています。

このお礼状、専用着払い伝票、専用回収キット等の封入作業は、全国たくさんの福祉作業所で行っています。

「古着deワクチン」は、国内の障がい者の方のお仕事にもつながっています。



3
Tsurugi de vaccine

開発途上国で衣類などの選別作業を行なっています。

日本で集められた衣類などは一度インド等へ送られ、女性たちにより選別作業が行われています。洋服類は男性大人用、女性大人用、暑い地域用、寒い地域用…等々、約170種類もの品目に分類されています。この作業により、現地での雇用を生み出しています。



4
Tsurugi de vaccine

開発途上国で選別された衣類などが販売されます。

届いた服を仕分けて、店頭へ並べて販売するためには、人手が必要。現地にビジネスが生まれ、雇用の促進につながっています。

日本から届く洋服などは十分に着られるものばかりで、現地の人々に大好評。上質の衣類を安価で入手できると、たくさんのお客様が訪れています。



©Ayako Kimura



©Ayako Kimura

あなたのお片づけが
ワクチンの寄付につながります。

「世界の子どもにワクチンを 日本委員会(JCV)」は、1994年1月に設立された認定NPO法人で、会長は細川護熙元首相夫人の細川佳代子さん。感染症で命を落とす子どもたちが数多くいる国々に、ワクチン、コールドボックス、運送用のバイク等を贈る活動を行っています。「古着deワクチン」は、このJCVを通じて、ミャンマーやラオス、ブータン、バヌアツなどの開発途上国の子どもたちにポリオワクチンを届けます。



世界の子どもにワクチンを 日本委員会(JCV)
1994年に設立された認定NPO法人。
会長は細川護熙元首相夫人の細川佳代子さん。
<https://www.jcv-jp.org/>

ポリオとは

「小児マヒ」とも呼ばれる病気。ウイルスが脊髄に入ると、手足にまひが残ったり、命を落とすこともあります。日本では予防接種の徹底で、1980年以降罹患者が出ていませんが、開発途上国の一部では、いまだ感染が確認されています。



あなたのクチコミ(レビュー)で、
子どもたちの命を更に救うことができます。

クチコミ(レビュー)を投稿していただくと、ポリオワクチンをさらに1人分寄付させていただきます。毎月クチコミ(レビュー)の数をカウントし、その数相当のポリオワクチンをさらに寄付します。ぜひこの機会に、買った&使った感想を書き込んでください。

クチコミ(レビュー)は、専用回収キットご購入時に会員登録された方のみ投稿できます。マイページへログイン後、「購入した商品のレビューを書く」へお進みください。



入力はこちらから↓
<https://goo.gl/umxx1M>